

世界災害語り継ぎネットワーク (TeLL-Net)

設立記念フォーラム

— 大災害を語り継ぐ —

災害の体験を広く世代を越えて語り継いでいくことはとても大切なことです。被災者が自ら語る体験談には誰もが心を揺さぶられ、将来の災害に備えるために具体的な行動を起こさなくてはという気持ちに駆り立てられます。国連防災世界会議(2005年1月、神戸)で採択された兵庫宣言でもこの点の重要性が確認されました。

しかし、こうした活動を継続するには大変な努力が必要です。被災者も社会も災害の爪痕や教訓をあっという間に忘れてしまうからです。1人の被災者が「災害語り継ぎ」に努めても、できることはごく限られます。

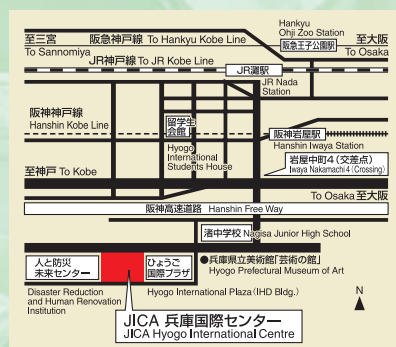
そこで、このたび、「世界災害語り継ぎネットワーク」(TeLL-Net、テルネット)を設立し、世界各地で様々な形で「災害語り継ぎ」をしている人や団体が、同じ目標に向かって力を合わせ、お互いに励まし学び合いながら活動を進めていくことにいたしました。

今回のフォーラムはこれを記念して開催されるものです。参加者のみなさんがともに災害の語り継ぎの大切さや各国の事例について学び、今後のテルネットの活動についての議論を深めていただくよう願っております。

国際防災・人道支援フォーラム実行委員会 委員長 河田 恵昭

日 時 2006年1月20日(金) 9:30~12:00
会 場 (独)国際協力機構(JICA)兵庫国際センター
2階グリーンフィングルーム
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 TEL 078-261-0341
主 催 国際防災・人道支援協議会(DRA)、兵庫県
後 援 ユネスコ、内閣府
使用言語 日本語・英語(同時通訳)

JR灘駅・阪神岩屋駅から南へ。
突き当たりの兵庫県立美術館を西へ(右へ)。
徒歩約10分。
<http://www.jica.go.jp/branch/hic/>



プログラム

基調講演	広瀬 弘忠 東京女子大学教授 「災害に出会うとき」
事例発表・討論	小林 郁雄 人と防災未来センター上級研究員(コーディネーター) ダーミリ シムル島語り継ぎ実践者(インドネシア) パルシザデ イラン国際地震工学・地震学研究所防災教育部長 大口 弘人 新潟県危機管理監 臼井 真 神戸市立小学校教諭 浅野 寿夫 (独)国際協力機構(JICA)国際緊急援助隊事務局長
テルネット設立宣言発表	小林 郁雄 テルネット設立準備委員会事務局長
コメント	サルバノ・ブリセーニョ 国連国際防災戦略事務局長

参加費 無料
定員 150名(定員になり次第募集を締め切ります。)
申込方法 氏名(フリガナ)と電話番号を明記して、FAXか郵送かメールで下記にご連絡下さい。
問合せ・申込先 人と防災未来センター事業課 平澤・東井(あずまい)・水本
電話 078-262-5068 FAX 078-262-5082 メール mizumotoa@dri.ne.jp

※登録確認の通知は致していません。日時の変更または定員に達してご参加いただけない場合にのみ、事務局よりご連絡させていただきます。当日は受付にて氏名をお伝え下さい。
また、駐車スペースはございませんので、当日お車でのご来場はご遠慮下さい。